ひるさき生活。仕事底環センター通信

令和6年度 第1号

ひろさき生活・仕事応援センターで行っている無料職業紹介事業では、

【職場見学】・【就労体験】・【定着支援】の3段階で、企業と働く人をつなぐ支援を行っています。 今回、代表取締役社長 久保 栄一郎氏より、当センターの役割や企業としての役割、代表としての 思いなどについてお話を伺いました。

> 平成30年から本事業に登録いただいている「株式会社弘前ドライクリーニング工場」では、 積極的に職場見学や就労体験を引き受けていただいております。

株式会社 弘前ドライカリーニコグ工場 ひろさき生活、仕事応援セコ目-

Q^{tofile}

久保 栄一郎 氏

株式会社弘前ドライクリーニング工場 共立寝具株式会社

2023年9月、代表取締役社長就任

2019 年に「人にも環境にもやさしいクリーニング「one more」を立ち上げる



−当センターでの取り組みについて久保社長はどう思っていますか?

「市がやっている」というのが大きいですよね。

人は、つまずくことってたくさんあると思うんですが、つまずいた先にセーフティネットがあるというのがい **弖** いじゃないですか。

障がいのある方には就労継続支援 A 型・B 型といった福祉による支援がありますが、不登校やひきこもりなど、 社会のレールからこぼれ落ちた人を支える支援がないという社会であってはならないと思いますし、キャッチアップ する仕組みが行政の中にあるということは凄く大事なことだと思います。

支援が必要な方に届く社会にしたい

――多様な社会、働き方についてどうお考えですか?

弘前ドライクリーニング工場の初代社長の時代から障がいのある方もない方も同じように働く環境が当たり前でした。 今課題になっているのが社会のレールから外れてしまった人に対する支援のあり方だと思うんですよね。それが凄く大 事なことだと思っています。

今、子ども達のキャリア教育の一環として職場体験学習の受け入れをやっているんですけど、体験的な学習は効果的に 記憶に残るんじゃないかなと思っていて。気軽に来ることが出来る居場所になれたらいいなと思っています。

「人を育てよう」「働く場所を作ろう」「働きたくても働けない人たち」にも目を向けていくこともとても大事ですよね。

共に栄える=人と人のつなかりの中に幸せがある

――久保社長が考える今後のビジョンを教えて下さい。

人の成長は、企業の成長であるとよく言われていますが、本当にそうだなと思います。

コミュニケーションも、ひとりひとりに合わせた接し方や、関わり方が本当に大切になってくると思います。

今までは、「お客様」だけ見ていればよかったけど、人手不足の時代「社員」ともどういう関係性を築くかが経営の分かれ目。

「共栄」する関係性を作りたいなと思っています。

今、「自分」と「他人」が分離していることがすごく問題だと思っているんです。「会社」と「お客様」もそうだし、 「会社」と「社員」もそうだし、「健常者」と「障がい者」かもしれない。

お互い相手のことを「知らない、わからない、興味がない、関心がない」といった感覚は、様々な問題を引き起こしています。「みんなで栄えていこう」ということが出来ればいいなと。「共栄」はテーマだなと思っています。

社員の幸せは会社の幸せだし、地域の幸せは会社の幸せ、みたいな会社にしたいというビジョンはあります。

見学・体験を経て、現在、株式会社 弘前ドライクリーニング工場では6名の方が就労中!

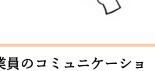
職場見学を行った 相談者

- ・30 代 女性 1名
- •40 代 男性 1名、女性 1名
- •50 代 女性 2 名
- •60 代 女性 1名



-) など

※このうち 4 名の方がご自身の生活スタイルや新しい環境での不安などを取り除くため 体験を行い、応募・採用となっています



▶ひろさき生活・仕事応援センター◀

多くの企業様が抱えている、①「従業員同士の人間関係」②「会社と従業員のコミュニケーション」③「離職問題」。

当センターでは、企業様の抱える問題や課題に共に向き合い採用活動のサポートを致します。 企業支援は「採用」で終わりではありません。採用後も就労した方の定着のため定期的に企業訪

問し、就労した方の様子、企業の抱える課題、困りごとなどの解決に向けお手伝いをさせて頂きます。

まずは職場見学だけでも実施してみたいという企業様も歓迎です。ご希望の企業様はご遠慮なくご連絡下さい。 今後も、人材確保に有益な情報を提供してまいります。



- ・取り組みが気になる
- ・見学・体験をやってみたい 是非、お問い合わせください!



